

【計画の概要】

○内水被害軽減の基本方針

浸水被害の危険性が高い地域を集中的に整備
緊急整備により、迅速に浸水被害を軽減

○対象期間

令和6年度～令和14年度

○全体計画額

約 428億円※(県:約360億、市:約68億)

○特定都市河川に向けた見込み

令和6年3月ロードマップ公表。ロードマップに基づき、特定都市河川指定に向けた検討を実施予定

※全体計画額については、今後変更となる可能性があります

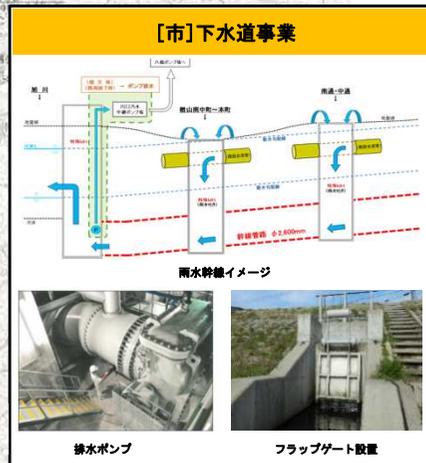
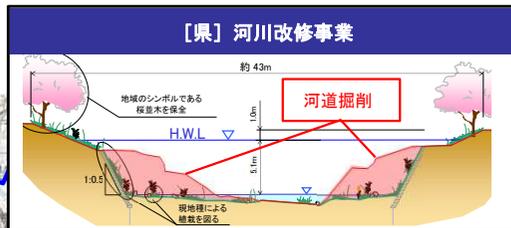
位置図



【取組の概要】

凡例

- 河川対策
- 下水道対策
- 流域対策
- 浸水範囲 (R5.7月大雨)
- 内水被害軽減対策計画範囲



【主な取り組み内容】

- 河川対策 : 太平洋の河川改修(県:約360億)
- 下水道対策: 雨水幹線、排水ポンプ、フラップゲートの整備(市:約66億)
- ソフト対策 : 内水浸水想定区域図作成(市:約2億)
- 流域対策 : ①特定都市河川の指定
②田んぼダムの効果検証
③公共施設等を活用した雨水貯留機能を有する施設の検討
④公共施設等の浸水対策の推進 など

【推進体制】

雄物川圏域流域治水協議会下流圏域分科会

【取り組みの効果】

令和5年7月と同規模の降雨に対して、概ね10年間で浸水面積の約8割を解消